

機器紹介

令和元年度に公益財団法人JKAの補助金により整備された機器を紹介します。

●3次元プリンター●

【概要】

CADデータを基に紫外線硬化樹脂を積層させることによって、立体物を成形する装置です。製品の試作開発や加工治具等の製作を低コスト・短期間で行うことができます。

【メーカー】 Stratasys

【型式】 Objet260 Connex3

【仕様】

造形方式:インクジェット方式

造形サイズ:255×252mm, 高さ200mm

最小積層ピッチ:16 μ m

樹脂タンク:8個

サポート材除去:高圧水による除去

使用可能樹脂:

アクリル系樹脂(白, 青, グレー, 黒, 透明)

カラー樹脂(シアン, マゼンタ, イエロー)

PPライク樹脂(白, アイボリー)

ABSライク樹脂(緑, アイボリー)

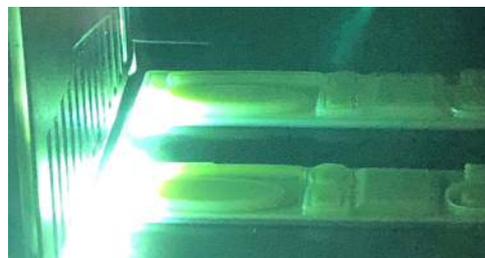
ゴムライク樹脂(黒, 透明)

耐熱樹脂

生体適合性樹脂など



3次元プリンター



装置内での造形中の様子

●卓上型X線フィルム自動現像機●

【概要】

金属溶接部や電子部品等のX線透過試験後のX線フィルムを自動で現像処理し、非破壊による内部構造や欠陥の評価を行うために使用する装置です。

【メーカー】 Colenta

【型式】 INDX 900E

【仕様】

移送方式:連続ローラー移送法による現像から乾燥までの自動現像処理

使用フィルム:工業用X線フィルム

サイズ10×100~360×430mm

処理時間:約8分間(30℃の標準処理)

フィルム観察サイズ:84×304mm, 304×254mm



卓上型X線フィルム自動現像機



フィルム観察器